



君の至行料五お舟を
昨日破かた所預かうと
ある左称とあちとそし但
一印初おが北たにつあつて
飛々のが出版をぬ一進くある
とのりだん是も已正をぬる
クは付は日中又まれば千百ん
るもあうのだらうら枯川の今
る葉がすんでうらまの守した
いとあふ僕も夫とよ今あ一
方舟をよ〜〜と進く他を
すれば快後が進くころうら
何れゆ〜と進く色の新し
そはあ〜と進くがそぢけは
来り改めめうらうら
あ日大ら保百人所八十一
二十日 幸徳秋水